



京葉銀行



80年の感謝を込めて

ミニディスクロージャー誌

2023

2023年3月期 営業のご報告



α ACTION PLAN 2024

～さらなる進化～

計画期間 2021年4月～2024年3月

「さらなる進化」に込めた想い

前第18次中計における取り組みを、本中計で新たなステージへ進化させることで、地域のお客さまとともに「成長の好循環」を生み出す。こうした私たちの姿勢、意思を込めています。

3つの基本戦略

課題解決型営業の強化

地域社会やお客さまの課題を発掘し、解決策の提示と実行支援に取り組む営業を強化します。

生産性の向上と人財の育成

デジタルを活用し、銀行とお客さま双方の生産性向上を図るとともに、課題解決を行うための人財を育成します。

経営基盤の強化

リスクとコストを適切にコントロールすることで、経営基盤を強化し、地域とともに持続的な成長を目指します。

目標とする主な経営指標

親会社株主に帰属する
当期純利益

80億円

OHR(単体)

60%台

自己資本比率(連結)

11%程度

Contents

- | | | |
|----------------------|------------------|---------------------------|
| 1 トップメッセージ | 5 創立80周年記念事業の展開 | 11 ダイバーシティ&インクルージョンへの取り組み |
| 2 α ACTION PLAN 2024 | 7 KEIYO TOPICS | 12 環境保全への取り組み |
| 3 財務ハイライト(単体) | 9 京葉銀行グループSDGs宣言 | 13 株式情報/当行のプロフィール |
| 4 非財務ハイライト | 10 地域経済・社会への取り組み | |

[京葉銀行のここに注目](#)

[京葉銀行のSDGs](#)



確かな“きずな”を、
未来へ。

取締役頭取 熊谷俊行

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、「ミニディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、ご案内を申し上げます。ご高覧のうえ当行に対するご理解を深めていただければ幸いです。

地域金融機関を取り巻く経営環境は、人口構造の変化、物価上昇や欧米の金融政策変更に伴う影響などにより先行き不透明な状況が続いています。また、ライフスタイルの変化やデジタル技術の進展を背景に、お客さまのニーズや課題は多様化・高度化しています。

このような環境下、当行は2021年4月よりスタートした中期経営計画「α ACTION PLAN 2024～さらなる進化～」を推進しており、本年度は計画の最終年度となります。お客さまのさまざまな課題にお応えするために京葉銀行グループ一体でソリューション営業体制の高度化を図り、さらには、社会的要請ともいえるESG・SDGsについても、地域金融機関としてお客さまの取り組みを後押しすべく、各種施策に取り組んでおります。

こうした事業活動の結果、2023年3月期決算は、法人のお客さま向けのソリューション関連手数料が順調に推移したほか、店舗体制の見直しによる物件費全般の削減、伴走型支援による与信関連費用の抑制などで、概ね計画通りの経営成績となりました。

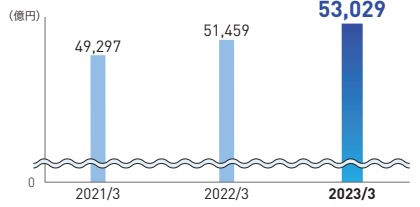
当行は本年3月に創立80周年を迎えることができました。これもひとえに、株主の皆さまをはじめとする関係各位の長年に亘るご支援とご愛顧があってこそと、役職員一同、心より感謝いたしております。つきましては、感謝の意を表し、2023年3月期の年間配当金は、記念配当1円を加えた22円とさせていただきます。なお、2024年3月期の年間配当金は、普通配当で1株当たり22円とさせていただきます。

創立90年、100年の未来に向け、これからもすべてのステークホルダーの皆さまのご信頼とご期待にお応えできるよう、京葉銀行グループ役職員一同さらなる努力を重ねてまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

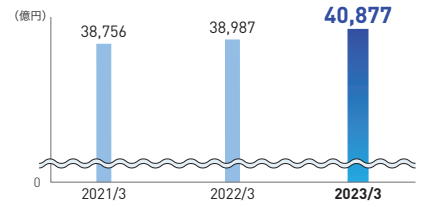
2023年6月

財務ハイライト(単体)

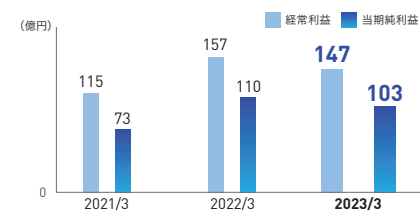
預金残高 **5兆3,029億円**



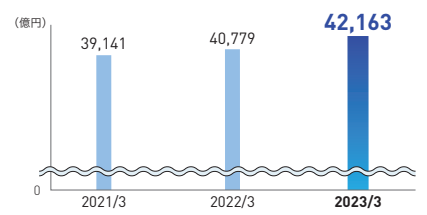
貸出金残高 **4兆877億円**



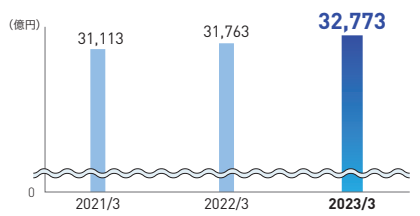
経常利益 **147億円** 当期純利益 **103億円**



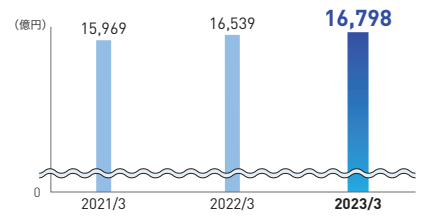
個人預金残高 **4兆2,163億円**



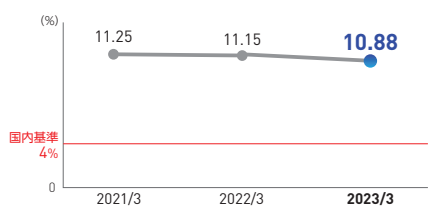
中小企業等向け貸出金残高 **3兆2,773億円**



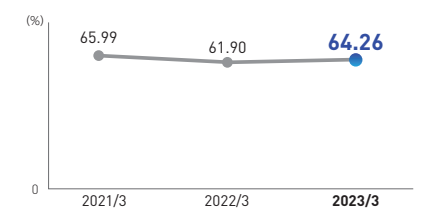
住宅ローン残高 **1兆6,798億円**



自己資本比率 **10.88%**



OHR **64.26%**



※数値が小さいほど効率性が高いことを示します。

非財務ハイライト

ESG関連投融资額
1,935億円
(2021年4月1日~2023年3月31日)

育児休業取得率
男性 **100%** 女性 **100%**
(2022年4月1日~2023年3月31日対象者)

社外取締役比率
40.0%
(2023年6月28日現在)

SDGs寄付型私募債累計実績
【2020年8月から取扱開始】
受託件数 **276件** 寄付額 **4,066万円**
(2023年3月31日現在)

指導的地位に占める女性比率
【係長以上の役付行員】
30.8%
(2023年4月1日現在)

女性取締役および執行役員
2人
(2023年6月28日現在)

格付情報

日本格付研究所 (JCR)
A+
S&P
グローバル・レーティング
A-
(2023年3月31日現在)

外部からの評価

「プラチナくるみんプラス」
「イクメン企業アワード2018 両立支援部門」
「えるぼし」
「健康経営優良法人2023 (大規模法人部門)」
「DX認定 [DX認定事業者]」

創立80周年記念事業の展開



80年の感謝を込めて

私たち京葉銀行は2023年3月31日、おかげさまで創立80年を迎えることができました。永きにわたるご愛顧に、心から感謝申し上げます。役員一同、創立90年、100年の未来に向け、これからもプラスアルファを提供し続け、地域の皆さまとともに歩んでまいります。



▶ 千葉県へ災害対策ドローンの贈呈

2023年2月、災害発生時の初動対応に活用していただくことを目的に、千葉県へ災害対策ドローンを贈呈しました。ドローンは千葉県庁ならびに県内10カ所の地域振興事務所に設置され、災害時の初動対応のみならず農林水産業をはじめとした各産業の振興に活かす基礎データ収集などにも活用されます。

また、4月には千葉県職員の皆さまに向けた講習会を開催し、操作に必要な知識を学んでいただくとともに、実機を使った基本的な操作を行いました。



▶ デジタルスタンプラリーの実施

地域の皆さまにあらためて千葉県の魅力を知っていただくとともに、県内の飲食店や観光業支援を通じた地域経済活性化を後押しするため、2023年3月31日から7月31日まで「京葉銀行創立80周年記念 デジタルdeスタンプラリー」を実施しています。

千葉県内を12の地域に分け、県内各地域の飲食店や観光施設、宿泊施設などを利用することでスタンプを取得し、当行のブランドキャラクター伊能忠敬のように地図の完成を目指すイベントです。



▶ 伊能図展の開催

2023年3月、2日間に亘り「みんなで歩こう伊能図展～日本初の実測地図に触れてみよう!～」を開催しました。

当行のブランドキャラクター伊能忠敬の功績を広く知っていただくため、伊能忠敬とその弟子たちが自ら歩いて完成させた「伊能図(中図)」の展示や、千葉大学環境ISO学生委員会によるワークショップが開かれ、たくさんの方に地図と歴史に触れていただきました。



▶ 野球教室の開催

「地域スポーツ振興」や「心と身体の健康づくり」などをテーマに、将来の地域社会を担う子どもたちの成長を後押しするため、当行野球部による野球教室を定期的に行っています。

2023年1月には四街道市内の中学生女子ソフトボールチーム、2月には千葉市中学生軟式野球選抜チームと野球教室を行い、技術的な指導だけでなく挨拶や礼儀の大切さについて伝えたほか、それぞれのチームへボールを寄贈しました。



▶ 株主優待制度の拡充

幅広く株主優待をご利用いただけますよう、2022年12月より優待制度を拡充しました。「金利優遇コース」に加え、個人株主の皆さまを対象にWebにてお申し込みいただく「宝くじコース」をご用意し、店頭へのご来店が難しい株主さまがご利用いただけるようにしました。

▶ 記念配当の実施

株主の皆さまへ日頃のご愛顧に感謝し、2023年3月期中間および期末配当で、それぞれ1株あたり50銭、年間1円の記念配当を実施しました。

KEIYO TOPICS



▶ 創立80周年記念定期預金キャンペーンの実施

■ 80周年ありがとう定期預金キャンペーン

【期間:2023年6月15日～2023年9月29日】

新たに定期預金を20万円以上お預け入れいただくと、抽選で200名さまに京葉銀行80周年記念品交換サイトの専用ポイント20,000ポイントをプレゼントします。

■ サマージャンボ宝くじ付定期預金 ※インターネットバンキング限定

【期間①:2023年8月1日～2023年8月18日】

上限金額100億円

【期間②:2023年9月13日～2023年9月29日】

上限金額80億円

幅広くご利用いただけるよう、募集枠を追加します。



▶ 「AIチャットボット」の導入

2022年8月、お客さまからのお問い合わせに対して人工知能(AI)が自動で回答するサービス「AIチャットボット」をHPに導入しました。

お客さまからのお問い合わせに24時間365日、即時回答が可能になるとともに、動画による各種操作案内や、AI分析により回答精度を高めることで、お客さまの自己解決ニーズへの対応や利便性向上につながります。



▶ 「女性涉外キャリアデザイン研修」の開催 ～りそなHDとの業務提携施策～

2023年6月、人的資本経営やダイバーシティへの関心の高まりを踏まえ、「女性涉外キャリアデザイン研修」を開催しました。その中で、株式会社りそな銀行で涉外業務に従事する女性社員との座談会を実施し、自身のキャリアに対する考え方やワークライフバランスに関する体験などを共有しました。

今後、両行にとって益々多様な役割を担っていく女性行員同士で、首都圏マーケットにおける金融分野で協働し、ビジネス機会を創造していきます。



▶ 香取市における歴史的資源を活用した観光まちづくりを支援

当行は、佐原信用金庫とともに出資している観光まちづくり会社、株式会社NIPPONIA SAWARAを通じて、佐原地区の歴史的な観光資源を活用した地域振興に、継続的に取り組んでいます。

2023年2月、江戸情緒が残る古民家を再利用し、新しい観光客の流れや地元商品誕生の機会創出、情報発信にも努めた点が評価され、株式会社NIPPONIA SAWARAが「地域再生大賞」(*)優秀賞を受賞しました。

(*)地方新聞46紙と共同通信社が地域に活気をもたらす団体・プロジェクトを表彰するもの



▶ 印旛郡栄町役場でのDX勉強会開催

2023年2月、印旛郡栄町役場にて職員の方々に向けたDX勉強会を開催しました。

従前より地域活性化事業などで交流のあった栄町にはDX推進のニーズがあり、当日は34名の方が参加されました。今後も自治体DXをサポートすることで、地域の持続的成長やより良い行政サービスに貢献していきます。



▶ 「CHIBA SDGs Parklet Project」の開催

食品ロスをはじめとした地域課題解決や、千葉駅前大通りの賑わいを取り戻すことを目指すイベント「CHIBA SDGs Parklet Project」を定期的に開催しています。

規格外野菜を活用した料理・加工品の販売やアップサイクルに関連するワークショップを行うなど、皆さまが楽しみながら学べる取り組みを行いました。また、フードドライブを設置し、事前に当行行員から集めた食品と合わせてフードバンクへ寄贈しました。



京葉銀行グループSDGs宣言

京葉銀行グループは、国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の趣旨に賛同し、次に掲げる重点項目に全従業員が主体的に取り組むことで、地域の持続的成長の実現を目指してまいります。

重点項目1 地域経済・社会

お客さまや地域の課題解決を支援することで、地域経済の発展に貢献してまいります。

対応する主な目標



重点項目2 ダイバーシティ&インクルージョン

個人の多様性を尊重し、誰もが仕事や生活を充実させ、自分らしく活躍できる社会づくりに貢献してまいります。

対応する主な目標



重点項目3 環境保全

社会全体の環境負荷低減と環境保全に取り組み、低炭素・循環型社会の実現を目指してまいります。

対応する主な目標



▶ SDGsとは?

人類は、貧困、紛争、テロ、気候変動、資源の枯渇など、数多くの課題に直面しています。このままでは、安定してこの世界で暮らし続けることができなくなってしまう...そんな問題意識から、国連において、すべての人々にとってより良い世界をつくるために課題を整理し、採択された「2030年までの達成を目指す17の目標」が、「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)」です。



主な取り組み

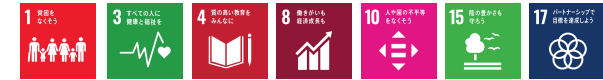
重点項目	主な取り組み	SDGs目標	取り組みの詳細	参照頁
地域経済・社会	地域・社会貢献	1, 3, 4, 8, 10, 15, 17	「京葉銀行SDGs寄付型私募債」を通じた寄付	P.10
	自治体と連携した取り組み	4, 10, 11, 16, 17	「地方創生SDGs金融表彰」の受賞について 千葉県が創設する奨学金制度に5百万円を寄付	
ダイバーシティ&インクルージョン	ワークライフバランスの充実	3, 8, 17	「プラチナなるみんプラス」認定の取得 健康経営への取り組み	P.11
	多様な人材が活躍できる環境整備	5, 8, 10, 17	女性の活躍を推進 リスキリングの推進	
環境保全	環境へ配慮した取り組み	7, 11, 12, 13	CO ₂ 排出量の削減目標(SCOPE1およびSCOPE2) ESG関連投資融資実行目標 株式会社脱炭素化支援機構(JICN)への出資	P.12
	千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト	12, 15, 17	里山整備事業の実施	

地域経済・社会への取り組み

お客さまや地域の課題解決を支援することで、地域経済の発展に貢献してまいります。



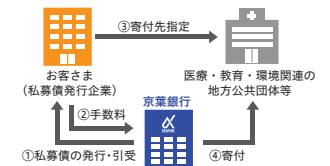
地域・社会貢献



▶ 「京葉銀行SDGs寄付型私募債」を通じた寄付

当行が私募債の発行企業さまから受け取る手数料の一部を拠出し、医療・教育・地方公共団体や公益的な活動を行う団体・法人等に寄付を行うもので、寄付先は発行企業さまにお選びいただけます。2022年度は「京葉銀行SDGs寄付型私募債」の発行企業数95社、寄付額1,438万円となりました。

(2020年8月取扱開始以降累計:発行企業数276社、寄付額4,066万円)



自治体と連携した取り組み



▶ 「地方創生SDGs金融表彰」の受賞について

2023年2月、地域におけるSDGs普及促進の枠組みとして参加している「ちばSDGs推進ネットワーク」を活かした官民連携による地方創生の取り組みが、内閣府の第2回「地方創生SDGs金融表彰」(※)を受賞しました。

(※)地方公共団体と地域金融機関等との連携による地方創生の取り組みを加速させることを目的として、SDGsの考え方を活かした実効性の高いプロジェクトを内閣府が選定・表彰するもの



▶ 千葉県が創設する奨学金制度に5百万円を寄付

2023年3月、千葉県が創設する奨学金制度の給付金に役立てていただくため、5百万円を寄付しました。この奨学金制度は、児童養護施設等退所者を対象に、経済的理由で進学を断念せざるを得ない子どもの学ぶ機会を確保することを目的としています。

当行はSDGs宣言の重点項目に資する取り組みであることから、千葉県の呼びかけに応じ、制度創設のタイミングで寄付を行いました。



ダイバーシティ&インクルージョンへの取り組み

個人の多様性を尊重し、誰もが仕事や生活を充実させ、自分らしく活躍できる社会づくりに貢献してまいります。



ワークライフバランスの充実



▶ 「プラチナくるみんプラス」認定の取得

2022年12月、次世代育成支援対策推進法に基づき、不妊治療と仕事を両立しやすい職場環境整備に取り組む企業として、千葉労働局より、「プラチナくるみんプラス」の認定を受けました。今回の認定取得は、支援ハンドブックの制定や柔軟な勤務制度を整備していることが評価されたものです。



▶ 健康経営への取り組み

行員の健康管理を経営課題として取り組むため、2021年4月に「健康経営宣言」を制定しました。頭取を推進責任者として、職員組合や産業保健スタッフ等と相互に連携しながら健康経営を推進しています。

2023年3月、経済産業省と日本健康会議が協同で選定する「健康経営優良法人2023(大規模法人部門)」に2年連続で認定されました。



■ 主な健康指標の推移および目標値

項目	2020年度	2021年度	2022年度	目標値
定期健康診断受診率	100%	100%	100%	100%
精密検査受診率	92.9%	98.8%	99.7%	100%
肥満者率(BMI25以上率)	23.2%	23.4%	23.5%	20%以下
ストレスチェック受検率	97.1%	99.6%	98.7%	99%以上

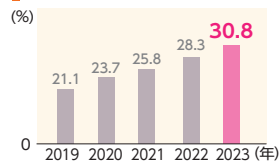


多様な人材が活躍できる環境整備

▶ 女性の活躍を推進

中期経営計画および女性活躍推進法に基づく行動計画において、2024年4月までに指導的地位(係長以上)に占める女性の割合を30%以上にする目標を掲げていましたが、2023年4月、早期に達成しました。

■ 指導的地位に占める女性比率



▶ リスキングの推進

行員一人ひとりのスキルアップを目的に、オフィススキルやITリテラシーの習得を推進しています。デジタル人材育成の観点から推奨しているITパスポートの取得者は2023年3月現在、552人となっています。

環境保全への取り組み

社会全体の環境負荷低減と環境保全に取り組み、低炭素・循環型社会の実現を目指してまいります。



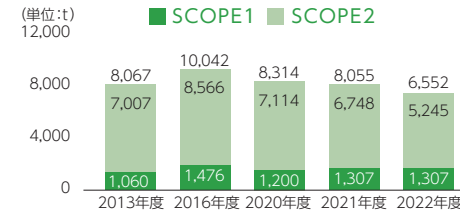
環境へ配慮した取り組み

▶ CO₂排出量の削減目標(SCOPE1およびSCOPE2)

2030年度に2013年度比50%削減、2050年度にカーボンニュートラルを目指す。

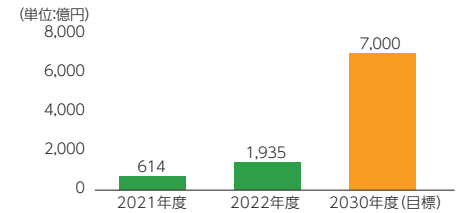
▶ ESG関連投融資実行目標(注2)

2021年度から2030年度までの実行目標 7,000億円
(注2)環境・再生可能エネルギー分野向け、医療・介護分野向け投融資等、ESGに資する投融資

■ CO₂排出量の推移(SCOPE1およびSCOPE2)

※当行グループのCO₂排出量は、千葉みなと本部が竣工した2016年度をピークに減少しています。

■ ESG関連投融資実行額(2021年度からの累計額)



SCOPE3(注1) カテゴリ6: 出張 110t | カテゴリ7: 通勤 1,329t

(注1) SCOPE3については京葉銀行単体のみ算出

うち環境・再生可能エネルギー分野向け 2021年度 104億円 | 2022年度 456億円

▶ 株式会社脱炭素化支援機構(JICN)への出資

2022年10月、脱炭素化に意欲的な民間事業者等の取り組みを後押しするという脱炭素化支援機構の趣旨に賛同し、同機構への出資を行いました。脱炭素化支援機構は、国の財政投融資(産業投資)と民間からの出資を資本としてファンド事業を行う株式会社で、資本金を基に、脱炭素に資する事業に対してエクイティ・メザニン等のリスクマネー供給を行い、巨額の民間ESG資金を脱炭素投資に振り向ける呼び水となることを目指しています。

千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト

千葉大学環境ISO学生委員会と当行は、2017年度より「ecoプロジェクト~7色の虹を千葉から未来へ」を掲げ、SDGsの達成に向けて千葉県内の多くの皆さまを対象に、環境啓発活動を実践しています。



▶ 里山整備事業の実施

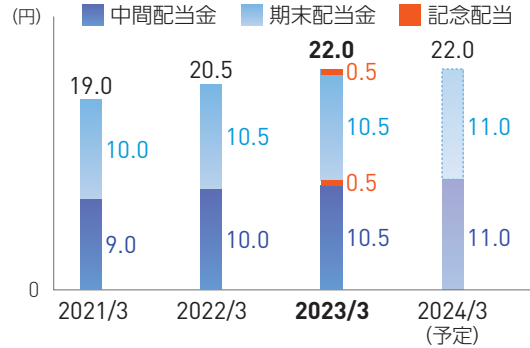
2022年12月、2023年3月に当行行員と千葉大生が里山保全活動を行いました。大学の講義で里山保全活動に興味を持った学生起案の企画で、草刈りや苗木づくりを体験し、里山の重要性を改めて学びました。



▶ 年間配当金 (1株当たり)

2023年3月期の1株当たりの期末配当金は、普通配当10円50銭に創立80周年記念配当50銭を加えた11円といたしました。これにより、中間配当金とあわせた年間の配当金は、22円となり、昨年と比べて1円50銭の増配となります。

また、2024年3月期の1株当たりの配当金は、中間、期末それぞれ普通配当11円とし、年間22円となる予定です。



▶ 株主優待制度

株主の皆さまの日頃のご愛顧に感謝するとともに投資魅力を高め、より多くの株主さまに長期的に当行株式を保有していただくことを目的に株主優待制度を導入しています。2022年12月には「金利優遇コース」に加え、個人株主の皆さまを対象に、Webにてお申し込みいただく「宝くじコース」をご用意し、店頭へのご来店が難しい株主さまがご利用いただけるようにしました。

※くわしくはお近くの営業店、もしくは京葉銀行総務グループへお問い合わせください。

☎ 0120-367-300 受付時間:月～金 9:00～17:00 (祝日および12月31日～1月3日は除きます)

優待1 ギフトカードの贈呈

●3月31日において1年以上継続して500株以上保有されている株主さまご本人

株主さまの保有株式数に応じて年1回プレゼント!

500株以上2,500株未満	2,500株以上5,000株未満	5,000株以上
1,000円相当	3,000円相当	5,000円相当

優待2 選べる株主優待

金利優遇コース

- 500株以上保有されている株主さまご本人
- お取扱期間は年2回

スーパー定期

店頭表示金利 **＋年0.2%**

500株以上 5,000株未満	100万円まで
5,000株以上	200万円まで

NEW 宝くじコース

- 500株以上保有し、定期預金残高100万円以上お預け入れいただいている個人の株主さまご本人
- お取扱期間は年2回

宝くじプレゼント!

500株以上 5,000株未満	1回あたり5枚
5,000株以上	1回あたり10枚

▶ 株式の状況 (2023年3月31日現在)

株式数	発行可能株式総数(千株)	発行済株式の総数(千株)	株主数	17,679名
	395,014	133,927		

(注) 株式数は千株未満を切り捨てて表示しています。

▶ 大株主 (2023年3月31日現在)

氏名または名称	持株数等 (千株)	持株比率 (%)	氏名または名称	持株数等 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,869	9.37	三井住友海上火災保険株式会社	3,459	2.73
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	6,335	5.00	損害保険ジャパン株式会社	3,378	2.66
株式会社千葉銀行	6,106	4.82	千葉県民共済生活協同組合	3,100	2.44
京葉銀行職員持株会	4,466	3.52	明治安田生命保険相互会社	2,969	2.34
住友生命保険相互会社	3,561	2.81	住友不動産株式会社	2,509	1.98

(注) 1.上記のほか、当行所有の自己株式7,316千株があります。 2.持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。 3.持株比率は自己株式(7,316千株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

▶ 株式のご案内

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により当行ホームページに掲載します。 (ホームページアドレス https://www.keiyobank.co.jp/) ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵送物送付先) お問合せ先	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎0120-707-843 特別口座でのお手続き用紙のご請求をインターネットでもお受けしています。 ホームページアドレス https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html (一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます)

▶ 役員の状況 (2023年6月28日現在)

取締役

取締役頭取(代表取締役)	取締役頭取(代表取締役)	取締役 専務執行役員	取締役 常務執行役員
熊谷 俊行	橋本 清	秋山 智	市川 達史
取締役 常務執行役員	取締役 常務執行役員	社外取締役	社外取締役
藤崎 一男	小坂 裕巳	秋山 勝貞	内村 廣志
社外取締役	社外取締役		
戸部 知子	上西 京一郎		

監査役

常勤監査役	常勤監査役
稗田 一浩	尾池 伸一
社外監査役	社外監査役
小野 功	花田 力
社外監査役	
岩原 淳一	

▶ 当行のプロフィール

設立 1943年3月31日

従業員 1,911名

拠点 122カ店

名称	株式会社京葉銀行	資本金	497億円
英文名称	The Keiyo Bank, Ltd.	総資産	6兆5,678億円
本店	千葉市中央区富士見一丁目11番11号	預金	5兆3,029億円
千葉みなと本部	千葉市中央区千葉港5番45号	貸出金	4兆877億円

(2023年3月31日現在)

京葉銀行のコミュニケーションシンボル



「**α**」の文字が描く重なりと上方へ伸びてゆくラインは、人と人との“きずな”と、そこを出発点に無限に伸びてゆく未来をあらわしています。コミュニケーションネームの「アルファバンク」は、“人とのきずなを大切に、無限の未来を切り開いてゆきたい”“常に皆さまにプラスアルファを提供し続ける銀行でありたい”そんな京葉銀行の思いをあらわしています。

確かな“きずな”を、未来へ。



本店
千葉みなと本部
TEL.043(306)2121

〒260-0015 千葉市中央区富士見 1-11-11
〒260-0026 千葉市中央区千葉港 5-45
<https://www.keiyobank.co.jp/>



※PDF版は認証紙に印刷された認証印刷物データを使用して作成しています。

2023年6月発行



京葉銀行公式アカウント

@keiyobank ぜひお友だち登録してくださいね！ LINEアプリで公式アカウントを検索
楽しいコンテンツやLINE限定の特典も！ 京葉銀行

またはLINEアプリのQRコードリーダーで！

